

あまがすき

We love AMA

- 「第7回あまのわ」開催のご報告
- 登録団体の活動紹介
あま市母子寡婦福祉会
- 登録団体の助成金事業紹介
- 新規登録団体・サロンの紹介
- あまのあれこれ事典
「広報紙の広報史」



第7回 あまのわ



■「第7回 あまのわ」開催のご報告 ■

テーマ：つながりから生まれる「元気な未来！」

2023年10月21日(土)、あま市文化の杜(美和文化会館)にて開催された「第7回あまのわ」。一般来場者の他、関係者も含め約3,600の方に来場いただきました。

オープニングセレモニー



クリス グレン氏とのトークセッション

にぎわう会場



会場では、ブース出展の団体同士、お互いの活動内容を知る機会となったようです。新しい出会いもあり、つながりが生まれるきっかけとなりました。

また、親子連れの来場者も多く、子どもたちがクイズラリーに挑戦する姿や、目をきらきらとさせ「みんなで遊ぼう！」コーナーに参加している様子が印象的でした。多彩なプログラムに、団体と参加者の笑顔が会場にあふれ、大盛況のうちに幕を閉じました。

元気いっぱいあまゾネス



オレンジリボンライダーと記念撮影



あまえん坊から応援メッセージ
「みんなであま市を
いいまちにしようケロ！」



団体のステージ発表



あま市民病院のミニ講演会



学生ボランティアの皆さん

41人中・高・大学生が活動に参加。



「幅広い世代の方たちとふれあえた」「励ましの声をかけてもらい頑張れた」などの感想も聞かれ、学生にとって充実した一日になりました。

また、来場者からは、学生の一生懸命取り組む姿に、「素晴らしい」との声が多く寄せられました。

協賛者の紹介

協賛者一覧



来場者アンケート・クイズラリー・フォトコンテストには合計24の協賛者の皆さまにご協力いただきました。

第7回あまのわクイズラリー フォトコンテストコーナー あまの魅力発見



「第7回あまのわ」の様子はこちらから➡

■ 特集:ひとり親支援...あま市母子寡婦福祉会 ■



2010年4月、市内の母子及び寡婦(※)の自立更生と福祉増進に努め、社会福祉に貢献することを目的として創立されました。ひとり親自身が会員となり活動しています。主な活動を紹介します。

(※)寡婦=夫と死別、または離別後再婚していない女性で、かつて児童を扶養していたことのある者(女性)

◆あま市ひとり親家庭の子どもの生活・学習支援事業「たんぽぽ学習支援」◆

●ひとり親家庭の子どもの学力向上と、生活安定を目的にはじまった学習支援事業●

2017年からはじまったひとり親家庭の子どもの学習支援事業。経済的な問題によって、低下しがちな子どもの学力や進学意欲の向上と、将来の生活の安定を目的として、あま市母子寡婦福祉会があま市より受託運営しています。その名も「たんぽぽ学習支援」は、中学生を対象として甚目寺・七宝・美和の3会場で毎週開催しています。



●ボランティアの先生との距離が近く、学びの場だけでなく安心できる場所として●

学習支援では、ボランティアの先生との距離の近さが魅力。教えてもらうだけでなく、自発的に質問したり、一緒に調べることで、学習方法や社会性が身につけられます。時には、悩みを聞いてもらうなど、安心できる場所にもなっています。最近では大学進学希望者も増え、進学後はボランティアの先生として戻ってくれる子も。そんな「恩送り」の姿にスタッフも温かい気持ちになるそうです。



●学習サポーターを募集しています！●

資格・経験は問いません。子どもが好きな方、学習支援の経験や関心のある方、大学生のみなさんのご参加お待ちしております！

詳細は事務局またはQRコードからお問合せください。
「たんぽぽ学習支援事務局」担当:武舎(080-4522-9916)



たんぽぽ学習支援 QRコード



◆夏休み学習会◆

～たんぽぽ学習支援特別企画～

2022年度「ひとり親家庭等の子ども食事等支援事業」の助成金を利用して、中学生を対象にお弁当付きの学習会を3会場で開催。大勢の子どもたちが参加しました。

夏休みの宿題など、しっかり勉強した後は、お待ちかねのお弁当！楽しいひと時を過ごしました。今後は冬休みにも開催していく予定です。



お楽しみのお弁当！

◆ニコニコたご配達◆

～子どもたちに美味しいプレゼント～

2021年、コロナ禍で楽しいイベントが減る中、会員やたんぽぽ学習会参加者に、屋台のような楽しい雰囲気を味わってほしいと「ニコニコたご配達」を実施しました。目の前にキッチンカーでやってきて、できたてのたご焼きをプレゼントすると、子どもたちは大喜び！

コロナ禍をきっかけに、最初は「赤い羽根共同募金」の助成を利用して行いましたが、その後も自主運営で活動を継続。今後も年に1～2回程度の開催を予定しています。



◆『あま市母子寡婦福祉会』よりメッセージ◆

子どもたちが幸せになるためには、まず親が幸せになることが大切です。ひとり親自身が、悩みを抱え込まないよう、ぜひ「あま市母子寡婦福祉会」に加入してください。仲間がいて、いろいろな情報収集もできます。イベントに参加できなくても大丈夫。まずは会員になって繋がってほしいと思います。

◆センターからのコメント◆

ひとつひとつの企画に、ひとり親や子どもたちへの深い思いやり・心配りが感じられます。同じ立場だからこそ共感でき、心に寄り添った活動ができるのだと思いました。

■ 登録団体の活動紹介 ■

かみもりたい

上萱津地域で、文化・歴史講演会やコンサートの開催等、幅広い活動を行うことで、地域の盛り上げや次世代により良くとつなぐことを目的としています。また、今年の夏休みには、地域の子どもたちが健やかに育つことを願い、小学生を対象とした学習会を実施しました。

まずは上萱津での活動を充実させ、やがては他の地域への広がりにつながればと考えています。



新規登録団体

あま市身体障害者福祉協会

平成22年あま市の合併に伴い、旧町それぞれにあった団体が1つになり、あま市身体障害者福祉協会となりました。会員相互の親睦、身体障害者の福祉増進、社会参加を図ることを目的として活動しています。

毎月開催している「なんでも話そう会」は、会員の居場所であり、障がいを持つ会員同士の情報交換の場となっています。会員募集中です。



助成金獲得事業の紹介

■ あま市令和5年度市民活動推進事業補助金・活性化事業補助金による事業 ■

あまちゃんの会

事業名「元気年齢を伸ばそう事業」

高齢者の介護予防・認知症予防と共に元気年齢を伸ばす目的で、多世代が笑って楽しく過ごせるイベント「あまチャンネル」を開催。手づくりゲーム、脳トレ、健康チェック等、盛りだくさんの内容です。

2023年12月9日(土) 9:45～15:00

会場:甚目寺総合福祉会館 チケット代:300円 (おにぎり2個・お茶・あんぱん・タオル代含む)

あまちゃんの会では、公益財団法人みずほ教育福祉財団の第40回「老後を豊かにするボランティア活動資金助成」でも資金を獲得し、通常の活動に必要な拡声器などの資材を購入することができました。



あま×SDGs

事業名「みんなでSDGs」

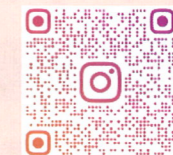
「持続可能な開発目標(SDGs)」を市民や市民活動団体、事業者などに具体的な行動を促すことを目的に開催。会場では、フリーマーケット「エコニコフリマ」の開催やクイズラリーなど楽しい企画が満載です。

2024年3月20日(水・祝)

10:00～15:00

会場:美和文化会館

参加費無料



公式Instagram



■ 2023年度ドコモ市民活動団体助成事業 ■

NPO法人ほっとネット・みわ

事業名「不登校や問題を抱える親子の支援事業」

近年不登校が増加しているあま市において、親が気軽に相談できる窓口の開設や、子どもへの向き合い方を学ぶ場、悩みを共有できるネットワークづくりを行います。親の居場所づくりとともに、市内の子育て支援団体や行政との連携、相談窓口の充実と拡大を図ります。不登校であっても、いずれは自立して自分らしく活躍できる地域社会を目指します。

◆子育て講座&グループミーティング

2023年12月9日(土)・2024年3月10日(日) 9:30～12:00 会場:七宝産業会館 参加費500円

◆子育て支援相談窓口 毎週水曜日 10:00～17:00開演 ☎090-8074-2177 (祝日はのぞく)

◆不登校、問題行動の親の会

2023年12月21日(木)2024年1月27日(土) 毎月1回～2回開催

10:00～12:00 会場:七宝産業会館 申込み・問合せ 052-449-2177



HPはこちら

■ サロンの活動紹介 ■

コロナ後、市内のサロンは本格的に活動を再開。サロンへの注目度が上がる中、充実した内容となるようスタッフの意欲も高まっています。市民活動センター発行のイベントカレンダーに日程を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

下之森元気クラブ

開催日:毎月第2水曜日 午前10時00分～11時30分

会場:下之森公民館 参加費:100円

対象:下之森近隣にお住まいの60歳以上の方

特色:体を使うことが健康につながると考え、ストレッチや歌を歌ったりします。食事など日常生活での注意点などもアドバイスし、通うと元気になれると好評です。

金岩サロンのぞみ

開催日:毎月第1日曜日 午前10時00分～11時30分

会場:長福寺信徒会館 参加費:100円

対象:金岩地区にお住まいの方

特色:参加者のニーズを企画に活かして、スタッフも一緒に楽しんでいます。グランドゴルフを行ったところ好評だったので、今後は屋外でのプログラムも取り入れる予定です。



広報紙の広報史

毎月届く「広報あま」。市の施策はもとより、社会生活や災害など、有事の際に必要な情報なども掲載されています。ちなみに、広報あまは十二月号で165号となります。ではいつから発行されていたのかというと、美和町は昭和三十九年、七宝町は昭和四十三年、甚目寺町は昭和五十二年と、いずれの町も、村から町への変革期に発行が始まっていると言えます。

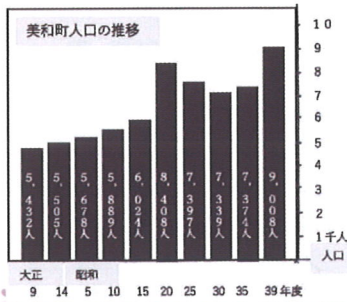
ここでは、創刊から数えておよそ六十年が経つ「美和町広報」を紹介しましょう。この当時の美和町の広報紙はB4サイズの両面モノクロ刷りと、見た目は瓦版のようなたたってシンプルなものでした。創刊号の内容は、(1)創刊にあたって(林一雄町長等)、(2)美和町の位置及び沿革、(3)人口の推移、(4)各学校面積と児童数一覧、(5)一般会計予算など概ね7項目でした。

広報の意義や目的、町の規模、財政状況など割とありきたりですが、細かく見ると「我が国待望のオリンピックの年、夢の超特急 東海道新幹線の開通」と国内で盛り上がる様子があり、さらにオリンピック関連事業として町の体育館の建設、正則小学校の増築工事などが審議されるなど当時の世相が見られます。人口の推移も大正九年からの国勢調査の結果がグラフ化(左図)されています。興味深いのは昭和二十年の八千四百人。

これは戦中、美和村に疎開してきた人の数も含まれており、千人近い人が疎開していたと判断できます。

このように広報は、その当時の町の様子や、歴史が見て取れる好古の資料であることがわかりました。

続きはまた別の機会に！



美和歴史民俗資料館 館長 近藤 博

市民活動センター移転のお知らせ

市民活動センターは、七宝産業会館の閉館に伴い、

令和6年3月31日(日)をもちまして、七宝公民館(旧七宝市民サービスセンター)に移転いたします。移転先での業務は、令和6年4月2日(火) から開始します。

移転に関するお問い合わせ先 市民活動センター 052-445-1900



あまテラス市民ボランティア募集

市民活動センターでは、市民ボランティアを募集しています。地域のために小さな一歩を踏み出してみませんか？また、登録団体の活動において、市民ボランティアの協力がほしいといった情報もお待ちしています。お気軽にご相談ください。

日本語ボランティア募集

外国人に日本語を教えるお手伝い

①JJ にほんごくらぶ

会場:甚目寺公民館 日曜日10:00~11:30
水曜日19:00~20:30
土曜日10:00~11:30

②美和日本語教室

会場:美和情報ふれあいセンター木曜日19:00~21:00
…あま市国際交流協会

保護猫預かりボランティア募集

保護猫を預かっていただくお手伝い

(ミルク猫については3時間おきの授乳あり)



…ねこネットあま

センター情報はこちら！

公式 LINE

登録をお待ちしています☆



公式Instagram

フォローしてね☆



センターからのさまざまな最新情報をお届けします。

メルマガ会員募集しています！

市民活動センターでは、毎月15日と30日頃にメールマガジンを配信しています。

左のQRコードを読み取りお名前とメルマガ希望とメールしてください。

登録をお待ちしています！

発行:あま市市民活動センター あまテラス

所在地:あま市七宝町遠島十坪 119-2 七宝産業会館 1F
TEL:052-445-1900 FAX:052-445-2030

Mail:info@ama-shiminkatsudo.jp

開館時間:9時~17時

閉館日:毎週月曜、祝日の翌日 年末年始



イベント、講座の最新情報はホームページで発信中！

URL <http://www.ama-shiminkatsudo.jp/>